

都の風

MIYAKO NO KAZE



2011年 No.25

- 発行／都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
- 編集／地域広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
- ホームページ／<http://www.miyakokai.or.jp/>
- お問い合わせ／info@miyakokai.or.jp

理念

- 患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
- 医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
- 職員の質の向上をはかります

二口 敏男様 97歳
ふたぐち としお
生年月日／大正2年6月26日 北区在住

東北地方太平洋沖地震

平成23年3月11日午後2時46分 三陸沖を震源とするマグニチュード9.0という日本観測史上最大の地震が東北及び関東地方を襲いました。この地震は大きな揺れだけではなく、その後に続く津波、火事、原発事故により未曾有の大被害をもたらしています。皆様方におかれましても、お身内や知り合いの方々の中に被災された方がおられ、胸を痛めておられる最中やも知れず心中お察しするとともに、心よりお見舞い申し上げます。

現在多くの人々が復旧に向けて尽力されており、私どもも微力ながら義援金、ボランティア派遣、物資調達、被災者受け入れ等でお手伝いができると考えております。

災害はいつどこでおきるかわかりません。私たちの住むこの美しい京都も例外ではありません。もし、災害がおきればどのように行動するか、どこに逃げるのか、家族との集合場所や連絡方法、必要なものなど普段から話し合っておくことは決して無駄ではないはずです。

人々はまだ大きな悲しみの中になりますが、私たちひとりひとりが希望を失わず明日への努力を積み重ねることで、この大災害から必ず復興を遂げることができます。

理念

■患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします

■医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします

■職員の質の向上をはかります

No.25



糖尿病は、血液の中のブドウ糖（血糖）が正常より多すぎる状態が続く病気です。通常だと血糖は、臍臍から分泌されるインスリンというホルモンの働きによって、一定の範囲に調節されています。しかし、臍臍からのインスリンの分泌が少なくなったり、働きが悪くなることでの調節がうまくできなくなる、これが糖尿病です。

糖尿病患者数は増加の一途を辿っており、日本では現在、約227万人の患者さんが定期的に通院し、治療を受けられていますが、実際の患者数は約890万人、糖尿病予備軍の方を含めるところ2000万人以上つまり、日本人の約5人に1人は糖尿病なさいし、予備軍であると言われています。

在宅においても例外ではなく、糖尿病の治療を長く続けられている患者さんや、新たに治療が必要な患者さんを往診で診させて頂く機会が増えています。

糖尿病は、合併症が怖い病気です。残念ながら糖尿病は現在のところ、「治る」病気ではなく、うまく「付き合っていく」病気

渡辺西賀茂診療所

内科医 小原 章央

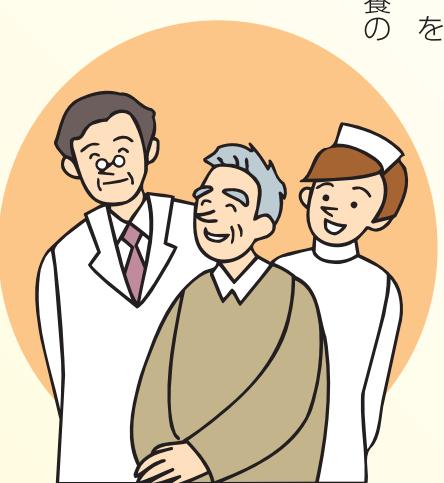
在宅での糖尿病の療養

です。うまく付き合つてしまふことで、合併症を予防し、糖尿病を患つてない方と同じように生活していくことが、糖尿病治療・療養の目標です。

しかし、一口に糖尿病と言つても、原因や病状、患者さんを取り巻く環境、そして病気に対する考え方は千差万別です。ですから、治療や療養の方法、そして目標も、患者さん一人ひとりで異なって当然です。特に在宅の場面では、長く糖尿病の治療を続けてきて、合併症も同時に治療が必要な患者さんや、他の病気を在宅で治療しながら、糖尿病の療養を続けられている患者さんが多くいらっしゃいます。そして、在宅では、診察室では見えっこない「患者さんを取り巻く環境」が、より身近に見えてきます。

私個人的には、血糖値が良くなればそれでいい、とは全く思っていないません。患者さんが「自分らしく」在宅で過ごすことを最大の目的とし、糖尿病がその妨げにならないように一人ひとりの生活環境や病状、そして「生き方」を身近に触れながら、治療や療養のアドバイスをしていくことを心がけています。

往診で伺つた際には、
お気軽にご相談ください。



西賀茂デイサービスセンター

節 分 行 事

二月三、四日に西賀茂デイサービスセンターで毎年恒例の節分の行事を行いました。太鼓を打ち鳴らし鬼が暴れ、利用者様に豆ならぬ新聞紙を丸めたボールを投げてもらい鬼退治をしました!! 今年も西賀茂デイサービスセンターに福が来るでしょう!!

デイサービスセンター つるさん かめさん

楽しいお茶会

全員がおうすを頂戴しました。普段とは違う表情がたくさん見られました。堂々としたお作法にスタッフもびっくり。

お洒落をしよう

いくつになっても女心はございます。眉を書いて紅を引くと気分も若返るというものです。

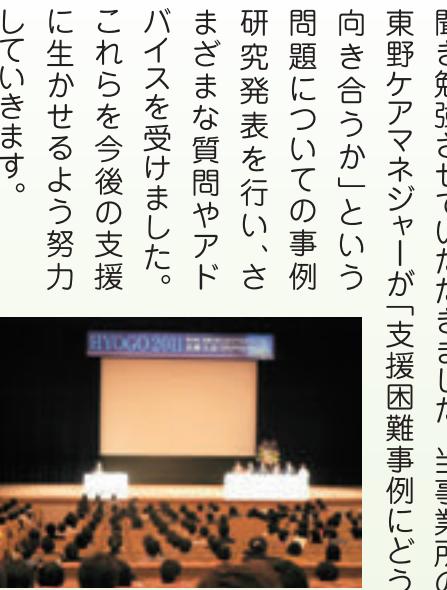
お習字に挑戦

初めは尻込みしていても昔取った杵柄で背筋を伸ばして見事な筆さばき。

ショートステイ にしがも



新春号で製作中だったショートステイにしがもの『赤富士』が完成しました。



居宅介護支援事業所

2月26日(土)27日(日)神戸ポートピアホ

テルに於いて「第10回 近畿介護支援専門員研究大会」が開催されました。西賀茂診療所からは5名のケアマネジャーが参加し「15年

後の地域社会を見据えて、ケアマネジャーの現在・過去・未来」というテーマのもとに行われた様々な講演、シンポジウム、研究発表を行いました。東野ケアマネジャーが「支援困難事例にどう

向き合うか」という問題についての事例研究発表を行い、さまざまな質問やアドバイスを受けました。これらを今後の支援に生かせるよう努力していきます。

グループホーム一乗寺ほっこり庵

一乗寺ほっこり庵は、平成20年8月の開設より早や3年を迎えるとしています。こちらでは、入居者様が「その人らしくほっこりできる環境、ほっこりできるふれあい、ほっこりできる時間を持つて、ほっこりした人生」を送って頂けるようパートナーと共に日々の日常を過ごしていただいております。今回はそんな一乗寺ほっこり庵の日常の様子を紹介させていただきたいたいと思います。

毎日こちらでは、入居者様のその日の体調や気分に合わせて体操、ドライブ、散歩、百人一首、カルタ取り等の様々なクリエーションに参加して楽しんで頂いております。

またここはグループホ



笑顔で配膳



洗い物



福笑いに挑戦



仲良しさん

一ムなので、その人らしい日常生活を過ごして頂けるよう、料理、掃除、洗濯物たたみ、洗濯物干し等の家事、炊事を一緒に行っています。他入居者様と談笑されたり、パートナーと冗談を言い合ったり、一人の時間を過ごしたい時は、自室でTVを見たりと自分らしく充実した日々を送られています。

物干し等の家事、炊事を一緒に行っています。他入居者様と談笑されたり、パートナーと冗談を言い合ったり、一人の時間を過ごしたい時は、自室でTVを見たりと自分らしく充実した日々を送られています。

四季折々のものや、施設内を彩るもの、入居者様とパートナーと一緒に製作し壁に展示しております。色々な図柄、絵があり楽しめますので来庵の際には是非ご覧になってください。

合同作品について



合同作品完成品



合同作品製作中